

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 6 No 11

6 4 号

平成10年11月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

インターネットの医療相談から - 2

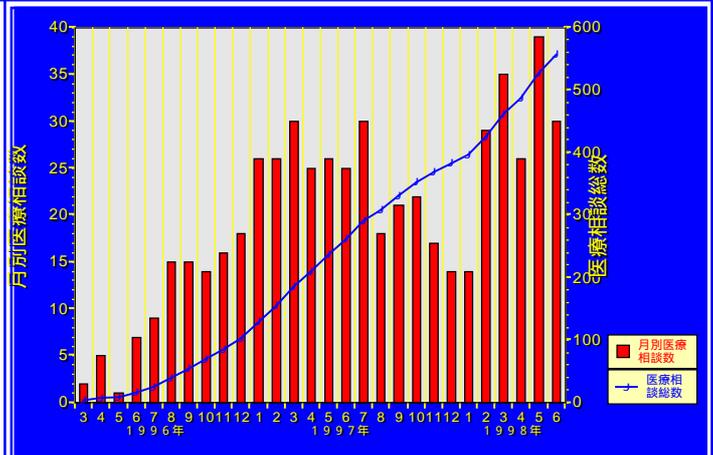
院長

インターネットの医療相談のことを、前回と方向を変えて話します。相談は、毎月着実に増え9月末現在では650件を超えました。最近では毎月30～40件、つまり毎日1件以上になっています。相談の内容は様々で、親御さんの心配や不安がほとんどです。またインターネットの特徴としては、相手が見えない、つまり誰かわからないということがあります。なかには名前や居住地（ホームページでは記載をお願いしてあります）など、何も記載もなく送ってくるものもあります。他の医療機関や行政などに直接言えない相談も送られてきて、ある意味ではドラマを見ているようです。相談を検討してみると、年齢では1才までのお子さんの相談が約40%、内容では病気と症状で約60%を占めていました。

動機を次に列挙してみます。

- ・病院にかかるほどではないが心配な場合
ある意味では単純な心配で、最も多い相談の動機です。
- ・保護者が聞けなかったり、医師の説明不足の場合
メールの内容にかかわらず、聞けなかったのか、話してもらえなかったかの区別は簡単ではありません。片方の言い分しか聞いていないので。
- ・外国のためコミュニケーションが難しい場合
もちろん海外在住の日本人です。アメリカがもっと多いですが、各国から来ています。数の割合からは5%前後でしょうか。これもインターネットの特徴の一つです。
- ・セカンド・オピニオンを求められる場合
かかりつけの先生の診断を受け説明も聞いているのですが、もう一つの意見として求められているものです。
- ・無料相談と割りきられている場合
大きく分けると以上ようになります。

果たして医療相談は役立っているのでしょうか。患者さんを診ない相談ですから、確定的な診断はできません。目的は当院の開業理念と同じ「母親の不安・心配の解消」で



す。医療相談のお礼や感謝のメールは、約半数の方から頂いています。またインターネット雑誌（10月号2件、11月号1件）や単行本、テレビなどで紹介されていることから、ある程度評価され役立っているのでしょう。

この相談にも問題があります。一つは、患者を診ないということです。もう一つは緊急性には対応できないということです。電話とは違って、こちらがメールボックスを開かないとメールを見れないわけです。たまたま偶然が重なって、緊急性に対応できた相談がありました。アドバイスによって総合病院を受診、入院。その後手術により事無きを得たお子さんがいました。この件については、お知らせしたように [11月29日\(日\)](#)、フジテレビ系列(仙台放送)「発掘!あるある大事典」で、小生のインタビューも含め紹介されます。



ボランティアの仕事ですから、雑誌やマスコミでの評価や相談者の声“医師の声は、我々一般人にとって絶対であり、何気ない一言で不安を解消させ安心感を与える事ができます。先生のようなHOMEPAGEは、こうした医師の声を聞く為の大変貴重な窓口だとおもいます。これからもこうした貴重な声を世界に向けて発信して行って下さい。”“ありがとうございました。無償でこのようなアドバイスを実際に行っている医師がいることに感銘いたしました。これからも世界の子供たちのためにがんばって下さい。”に支えられているのです。時間的・身体的負担が大変ですが、もう少し続けたいと思っています。(グラフがコピーでは、見えないかもしれませんが。上の数字は総数は600、月別は40です。御判読下さい。)

11月のお知らせ
[11月14日\(土\)](#)
 小児科学会並びに従業員慰安旅行のため、**休診**となります。御協力、御理解をお願いします。

読者の広場

先月載せられなかった投書がありますので、紹介いたします。“スタッフの皆様へ。いつもお世話になっています。先日は、お兄ちゃんの圭佑が全身、ブツブツにおそわれ、我家は家族みんながパニックでした。あわてて休日当番医を探して行きましたが、今一つ私達（本人も含めて）の不安はなくなり、1日が過ぎました。翌日息子と私と気持ちは一緒でした。「やっぱり、川村先生に行こう...」不思議と先生にみてもらおうと、かならず治るって思ってしまうのです。3日後、ほとんど顔のはれもおさまり、外出できるようになり、本当にたすかりました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしく願います。圭佑の母より” どうもありがとうございました。もう一つ都築さんより投書と、ひでくんとなるみちゃんから絵(?)を頂きました。投書については、来月号でも紹介します。

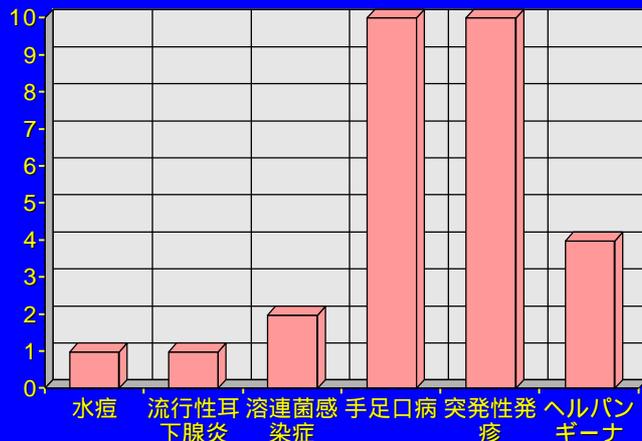


第5回お母さんクラブは、「アレルギーについて」という題で10月15日開催され、参加者は24名でした。スライドを使ってアレルギーが起こる仕組みを説明しました。喘息やアトピーについて、症状や対処法、アレルギーの検査などについても解説しました。アレルギーということもあって、いつもより参加者も多かったようです。11月は勉強会（内容はまだ未定で、風邪の話かコンピュータの話にでもしようかと思っています）、12月にはクリスマス会の予定です。内容は、なるべく多くの方が参加できるようにということで、今検討中です。御期待下さい。



さて、しつこいようですが、11月29日(日)仙台放送、夜9時「発掘! あるある大事典」で、当院のホームページと医療相談が取り上げられます。10月初旬に、東京から取材に来ました。前回のお母さんクラブで報告したとき、誰からというわけではなく、拍手を頂きました。本当に嬉しく思いました。内容は見てのお楽しみですが、ちょっと心配なこともあります。マスコミの取り上げ方には、場合によって偏りがあるかもしれません。本来の意味と異なることはないと思いますが、ちょっと気になるります。また医療相談が増えて、忙しくなることだけ心配です。ちょっとぜいたくな悩みでしょうか。ご覧になったか方は、ぜひ観想をお寄せ下さい。

10月の感染症の集計



水痘とおたふくは、明らかに減少しています。そろそろ収束と考えていいかもしれません。気候がおかしいせいなのか、夏カゼの種類の手足口病やヘルパンギーナなどまだみられていました。季節柄ぜーぜーするこども達や咳が長くとれない子達も多くみられます。もちろん喘息の発作も多くみられています。麻疹が流行っているという話が聞こえてきて、県の感染症情報でも、確かに麻疹が増えてきています。重い病気です。予防接種未接種の人は、早めに受けて下さい。

「すこやかさん こんにちは」放送予定

皆さん御存知のように、院長は、教育委員会の家庭教育充実事業の「すこやかさん こんにちは」テレビ育児相談の部長をしています。そのスケジュールをお知らせいたします。放送は、

東北放送で午前10:00～10:30です。

上段はメインテーマ、下段はすこやか健康メモです。

- 11/14(土) **子どものエネルギー スキンケア**
- 11/28(土) **笑顔で おかわり やけど**
- 12/12(土) **お父さん 大好き! 中耳炎**
- 1/9(土) **お薬について 下痢**

10月から始まっていますが、全部で10回あります。

院長の担当は、お薬についてです。2月にも**子育てQ&A**を担当します。興味のある方は、ご覧になってください。内容についてのパンフレットがあります。希望の方は受付まで。

インフルエンザ予防接種のお知らせ



11月から、インフルエンザの予防接種を行います。任意接種となります。流行する前に、済ませましょう。

接種は、1～4週間隔で2回行います。料金は、1回3000円です。詳しいことは看護婦に、御相談下さい。

編集後記

少し混雑してきました。待ち時間も長くなってきています。御協力をお願いします。心配されている方もいるかもしれないので、念のため、使用しているイラストは、著作権フリーか許可をとっているものだけです。

